

## 行事予定

- 3月6日(火) 東京教区詠道部発展拡充大会
- 3月12日(月)～15日(木) 第10次四国八十八ヶ所巡拝
- 3月21日(水) 春季彼岸会
- 3月30日(金)～4月1日(日) 龍雲寺桜ライトアップ
- 4月23日(月)～26日(木) 近畿不動尊巡礼
- 5月14日(月)～16日(水) 第5回秩父三十四観音巡礼
- 6月13日(水)～14日(木) 第139回 三峰榛名講
- 7月13日(金)～15日(日) 棚経
- 7月17日(火) 孟蘭盆施餓鬼会
- 7月27日(金)～28日(土) 盆踊り大会 (※今年より二日間開催)
- 8月15日(水)～17日(金) 第13回 妙心寺と五山送り火
- 9月23日(日) 秋季彼岸会
- 10月6日(土) 第15回天満敦子ヴァイオリンコンサート

## 編集後記

○皆様いかがお過ごしですか？龍雲寺境内は紅梅、福寿草、河津桜が咲いています。寒さが厳しい中でも少しずつ春が近づいているようです。○二月八日の龍雲寺の開山忌には沢山の和尚様方に龍雲寺に古くからある輪島塗のお膳を使って精進料理を作りお出ししています。○第五次秩父三十四観音巡礼のお誘いです。観音巡礼を始める方に最適な巡礼で他の巡礼と違い二泊三日で満願になります。百観音巡礼は西国三十三観音巡礼、坂東三十三観音巡礼と秩父三十四観音で百観音になります。○第十三回妙心寺と五山送り火の旅も是非ご参加下さい。○三月は第十次四国八十八ヶ所巡拝で今回で八十番まで打ち終えます。近畿三十六不動尊巡礼は大坂方面に参ります。○猫の杏ちゃんは夜中にトイレに行く方丈さんの足元でニャーニャー鳴きながら送迎しています。○孫の佳子ちゃん、方丈さんの事をジータン、ワンワンとだけ言えます。○お彼岸会にはおはぎとお漬物をご用意してお待ちしています。お元気で。要子

## ◆第一三九回 三峰榛名講 御案内

江戸時代から続く龍雲寺の恒例行事、第一三九回三峰榛名講を下記の通り計画しました。御参加下さいませよう御案内申し上げます。

日時／平成30年6月13日(水)～14日(木)  
 集合／平成30年6月13日(水) 午前7時  
 龍雲寺境内集合出発  
 会費／27000円

※詳しくはお寺まで。申込用紙は春彼岸会よりお渡しいたします。



## 臨濟宗妙心寺派

# 龍雲寺 花園会報

### 二〇一八年 春彼岸号

## 監修／細川晋輔

## 編集／細川要子

〒一五四〇〇〇三  
東京都世田谷区野沢三三八―一

TEL〇三三四二一〇二三八  
FAX〇三三四一八一九八六三

野沢龍雲寺 検索

## ご挨拶

新命住職 細川 晋輔

今年の冬は本当に寒く、やっと彼岸を迎え、待ちに待った春の気配が感じられるようになりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

私が預かる龍雲寺でも、福寿草にはじまり、紅梅、そして河津桜と次々に境内で咲き誇っています。樹齢五十年を超えるソメイヨシノの蕾もいよいよ膨らみ、まだかまだかと開花の合図をまわっているようです。

二月八日には龍雲寺ご開山・節外祖貞禪師の二九四回忌を無事に厳修いたしました。亡くなられて二九三年という月日が経つわけですが、その年数も一日一日の積み重ねに他なりません。年年歳歳花相似、歳歳年年人不同

年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず。中国の唐の時代の詩とされています。毎年同じように咲く、いつか二人で見た花を眺めているが、残念ながらその人はもうこの世にいない。一人で花を愛でながら、時の流れの残酷さをかみしめる。自然の悠久さと、人の命のはかなさを対比させた詩となっています。

ここには必ず死を迎えなければならないという、人間の悲しい現実が込められています。そして、仏教では諸行は無常であるところから、この現実を悲観していても仕方ありません。だからこそ禪宗では、いつかは尽きる命だからこそ、今この瞬間を大切に生きていくことを説いているのです。

しかし、春になると当たり前のように見ることが出来る花も、去年と同じものではないのです。境内の桜も毎年のように咲いてくれますが、もちろん毎年同じ花ではありません。暑い夏や寒い冬を耐え、台風や大雪を乗り越えて、五十年以上も休むことなく、やっとの思いで咲いているのです。そして一週間も経たないうちに散ってしまいます。

花が咲いている 精一杯咲いている 私たちも精一杯生きよう  
 松原泰道師の言葉です。精一杯咲いている花をみて、当たり前なことなど何一つないことに気が付かなくてはならないのです。そして、自分たちも花と同じように精一杯生きていくのであろうか？と真剣に考えなくてはならないことを教えてくれるのです。

龍雲寺の境内にはたくさんの植木があります。それぞれの木には、それぞれの想いが込められています。ぜひ境内の綺麗なお花をご覧になってください。最後になりますが、時節柄御自愛第一の程、祈念申し上げます。

## 春季彼岸会法要

平成30年3月21日(水) 於・龍雲寺本堂  
 12時 御詠歌奉詠  
 12時45分 法話  
 13時30分 法要

※おはぎと、お漬物をご用意しています。どうぞお参り下さい。申し込み不要。

## 龍雲寺桜ライトアップ

今年も例年のように龍雲寺境内におきまして、「桜ライトアップ」を行います。ぜひご覧下さいませ。

また、茶室・南薫亭に於きまして午後3時から龍雲寺茶道部による「普段着のお茶会」もごさいます。どうぞ気楽な格好でお楽しみください。

### ◆龍雲寺桜ライトアップ

【日 時】3月30日(金)～4月1日(日)

午後6時から午後9時閉門

【場 所】龍雲寺境内

### ◆普段着のお茶会

【日 時】ライトアップ同日

午後3時から午後6時まで

(午後5時半受付終了)

【場 所】龍雲寺境内 茶室・南薫亭

【料 金】100円(抹茶・お菓子付き)

※楽な格好でお気軽にお越しください。



## 募集中

詳しくは龍雲寺まで  
お早めにお申し込み下さい。

### ◆無相教会花園流御詠歌会員募集

3月23日(金)・4月16日(月)

5月24日(木)・6月4日(月)

7月11日(水)

自主練習(不定期)

### ◆第五次秩父三十四観音巡礼

詳細はお寺まで

## 龍雲寺ダンマトークのご案内

【日 時】平成30年4月28日(土)午後3時半開演午後5時終了

【場 所】龍雲寺本堂

【料 金】入場無料 要予約(定員100名)

【講師】目黒碑文谷・圓融寺住職 阿 純章 師(おか じゅんしょう)

【演 題】「天台坐禅止観について」～もうひとつの禅の源流～

四月のダンマトークは、目黒碑文谷の圓融寺の阿ご住職をお招きします。圓融寺様は天台宗の寺院ですが、龍雲寺とのご縁は深いものがあります。

龍雲寺は、安政二(一八五五)年安政の大地震のため伽藍は大破、復旧不可能となり、寺籍のみのお堂となっております。現在の旭小学校より環七駐車場へ移りますが、住職するものもなく、復興ははかどりません。記録もことごとく紛失し、ついにお堂も壊れ、荒廃に帰してしまいました。

安政の大地震より三〇余年、明治二十年になると麻布の光林寺の住職の命で、一人の修行僧がこの地に簡素な木小屋を造り、住み始めたのです。六十年ぶりに人が住み、龍雲寺の再興がはじまります。

明治三八年には目黒の圓融寺様より古材をもらい受け、草葺き屋根の本堂と庫裏ができました。

このような圓融寺様に、龍雲寺の本堂でご講演いただける機会ができたこと、深い因縁を感じております。天台宗は臨済宗を日本にもたらした榮西禪師も学ばれたもの。天台宗や比叡山延暦寺、禅に興味がある方はぜひご参加ください。何より阿住職のお話は、本当に素晴らしいです。



### ◆早朝洗心坐禅会(初回のみ要予約)

毎週日曜日

朝6時30分～8時30分(6時開門)

会費 無料

※初回参加の方のみ予約が必要となります。

詳しくはホームページをご覧ください。

### ◆写経会(初回のみ要予約)

毎月第2土曜日 1時～4時

(但し、7月、8月はお休み)

納経料は一卷500円(龍雲寺に納経)

※初回参加の方のみ予約が必要となります。

詳しくはホームページをご覧ください。

### ◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

### ◆納骨堂(お遺骨時預り 無料・期間5年)

ご不幸があつて慌てて墓地を買われないうように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで納骨堂を建てました。

いつもお参りの方がいらしています。

### ◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

花園誌に連載中で、全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。

【日 時】4月1日(日)・5月6日(日)

6月3日(日)・6月30日(土)

※7・8月はお休み

午後3時から

【参加費】大人800円、子ども500円

(家族料金800円)

申し込み、お問い合わせはお寺まで

### ◆龍雲寺ダンマトーク(法話会)

4月28日(土) 午後3時30分～5時

まで (開場午後3時)

【場 所】龍雲寺本堂【参加費】無料

【講師】目黒圓融寺 阿 純章師

※要予約(東京禅センター)

申込みは、東京禅センターまで

【FAX】03(5779)3801

○他にも龍雲寺では開基の会・茶道部・獅子舞子ども会・かっぱれ・ヨガ等があります。